

## 1 議 事 日 程

[令和4年太宰府市議会 決算特別委員会]

令和4年8月29日

午前11時00分

於 全員協議会室

- 日程第1 認定第1号 令和3年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について  
日程第2 認定第2号 令和3年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について  
日程第3 認定第3号 令和3年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について  
日程第4 認定第4号 令和3年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について  
日程第5 認定第5号 令和3年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について  
日程第6 認定第6号 令和3年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について  
日程第7 認定第7号 令和3年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

## 2 出席委員は次のとおりである（17名）

委員長	陶山良尚 議員	副委員長	木村彰人 議員
委員	タコスキッド 議員	委員	馬場礼子 議員
〃	今泉義文 議員	〃	森田正嗣 議員
〃	宮原伸一 議員	〃	入江寿 議員
〃	徳永洋介 議員	〃	船越隆之 議員
〃	堺 剛 議員	〃	笠利毅 議員
〃	原田久美子 議員	〃	小嶋真由美 議員
〃	長谷川公成 議員	〃	橋本健 議員
〃	門田直樹 議員		

## 3 欠席委員は次のとおりである（1名）

委員 神武綾 議員

## 4 太宰府市議会委員会条例第18条により説明のため出席した者の職氏名（11名）

総務部長	山浦剛志	総務部経営企画担当理事	村田誠英
市民生活部長	中島康秀	健康福祉部高齢者福祉担当理事 兼高齢者支援課長	行武佐江
都市整備部長	高原清	経営企画課長	轟貴之
人権政策課長兼 人権センター所長	河野貴之	国保年金課長	山口辰男
介護保険課長	立石泰隆	上下水道課長	田中潤一
上下水道施設課長	清武伸寿		

## 5 職務のため委員会に出席した事務局職員の職氏名（3名）

議会事務局長 木村幸代志 議事課長 花田敏浩

書 記 井 手 梨 紗 子

開会 午前11時00分

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（陶山良尚委員） ただいまから決算特別委員会を開会いたします。

本日の決算特別委員会は、認定第1号から認定第7号までについて、各所管部長からの説明にとどめたいと思います。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 認定第1号 令和3年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について

○委員長（陶山良尚委員） それでは、日程第1、認定第1号「令和3年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

総務部長。

○総務部長（山浦剛志） それでは、認定第1号「令和3年度太宰府市一般会計歳入歳出決算認定について」、その概要をご説明申し上げます。

資料といたしましては、既にお配りしておりました事務報告書の決算の概要に沿って説明をさせていただきます。

なお、説明の都合上、決算額は1,000円単位とさせていただきますので、よろしくお願いたします。

初めに、1ページの会計別決算状況をご覧ください。

令和3年度一般会計の決算額は、歳入総額306億4,572万1,000円、歳出総額281億6,676万3,000円となっております。参考までに、これを前年度と比較いたしますと、歳入では35億8,668万円、10.5%の減、歳出では46億9,555万9,000円、14.3%の減となりました。歳入歳出とも大幅減となりましたのは、令和2年度に実施いたしました総額70億円を超える特別定額給付金事業が大きく影響しております。

次に、2ページをご覧ください。

こちらは普通会計決算の概略を載せておりますが、これからの説明につきましては一般会計と住宅新築資金等貸付事業特別会計を合わせました普通会計の数値になりますので、あらかじめご了承願います。

歳入歳出差引き額は24億8,154万7,000円の黒字となり、ここから繰越明許費等による翌年度へ繰り越すべき財源3億4,542万6,000円を差し引きますと、実質収支額として21億3,612万1,000円の黒字決算となっております。

令和3年度は、今なお続くコロナ禍におきまして、市民や事業者の皆様の支援に着実に取り組みつつ、楠田市政1期目の集大成として、公約実現に向け、まち・ひと・しごと創生総合戦略、いわゆるまちづくりビジョンに基づきます各種施策に全力で取り組んでまいりました。事業の遂行に当たりましては、コロナの影響による市税の減収等を見据えながら例年以上に費用対効果を意識し、限られた予算の中で効果的、効率的な事業の推進に努めてまいりました。ま

た、令和発祥の都太宰府「梅」プロジェクトを推進するなど、市の魅力向上にも積極的に取り組んできたところでございます。

それでは、3ページ以降に記載しております決算の内訳をご説明いたします。

まず、3ページの歳入からご説明いたします。

歳入全体の決算額は306億5,144万3,000円で、前年度より35億8,491万4,000円、10.5%の減となっております。冒頭で申し上げました令和2年度の特別定額給付金事業が大きく影響しておりますが、ふるさと太宰府応援寄附について、返礼品の拡充や積極的な広報、企業版ふるさと納税を開始したことなどにより9億円を超える飛躍的な増収を達成することができましたほか、普通交付税や令和2年度の決算剰余金が増加したことによる繰越金が大幅に増加いたしました。

次に、市税についてご説明いたします。

4ページをご覧ください。

市税の決算額は83億1,717万9,000円で、前年度と比較いたしますと1億2,388万8,000円、1.5%の減となっております。コロナの感染対策や経済活性化のための各種施策を積極的に実行し、懸念されましたコロナの影響による減収は、当初見積りの約6億円減に比べますと微減にとどめることができました。

5ページをご覧ください。

こちらには一般財源の状況を掲載しております。一般財源全体といたしましては192億845万6,000円で、前年度から20億4,291万9,000円、11.9%の増となっております。寄附金につきまして、ふるさと納税の返礼品の拡充やポータルサイトの増設、積極的な広報戦略といった取組強化などによりまして倍増となったほか、地方交付税や地方消費税交付金、繰越金が増額となっております。

なお、6ページには歳入を自主財源と依存財源に分けて掲載をいたしております。

自主財源につきましては、減額となったものがある一方で、寄附金が大幅に増額したことや、繰越金や諸収入も増額となったことなどから、前年度と比べ、増額となりました。

依存財源につきましては、地方交付税や地方消費税交付金、地方特例交付金などが増額となったものの、国庫支出金が大幅に減額となったことや、市債につきましても新規発行の抑制に努め、減額となるなど、前年に比べ、大幅減となりました。

これらの結果、歳入合計に占める自主財源の割合は、前年度の32.5%から増加し、37.9%となっております。

以上で歳入の状況の説明を終わらせていただきます。

次に、歳出の状況をご説明いたします。

7ページをご覧ください。

歳出全体の決算額は281億6,989万6,000円で、前年度比46億9,325万1,000円、14.3%の減となっております。内訳を目的別に見ますと、こちらにも冒頭で申し上げました特別定額給付金事

業の影響や、公共施設整備基金へ5億円超の積立てを執行し、総務費が66億2,825万2,000円、65.6%の減。新型コロナウイルスの影響に苦しむ事業者の支援策として令和2年度に実施いたしましたがんばろう令和支援金の影響によりまして、商工費が3億1,753万2,000円、39.9%の減。小・中学校のGIGAスクール関連経費の減などによりまして、教育費が5億235万4,000円、13.8%の減となっております。一方で、子育て世帯や低所得世帯への支援として各種給付金を支給したことなどにより、民生費が21億745万円、18.9%の増。新型コロナウイルスワクチン接種事業の実施などによりまして、衛生費が7億9,122万8,000円、44.2%の増となっております。

次に、8ページには歳出を性質別に分けて掲載をしております。

義務的経費では、全体で22億742万9,000円、16.6%の増となりましたが、扶助費が子育て世帯や低所得世帯への支援として各種給付金を支給したことなどによりまして20億円超の増となっており、大部分を占めております。

投資的経費では、史跡地公有化やJRの踏切改良、また中学校の整備事業が減少したことなどにより普通建設事業費が減額となり、一方で令和3年8月の大雨災害の復旧事業費が増額となり、全体で6億5,588万9,000円、32.6%の減となっております。

その他の経費では、新型コロナウイルスワクチン接種事業に係る物件費や基金への積立てを執行したことによる積立金が増加した一方で、令和2年度の特別定額給付金事業の影響により補助費等が大幅に減額となり、全体で62億4,479万1,000円、35.6%の減となりました。

以上で歳出の説明を終わらせていただきます。

次に、本市の財政状況についてご説明いたします。

10ページをお願いいたします。

10ページに経常収支比率の推移を載せております。経常収支比率は財政構造の弾力性を示す指標の一つでございますが、令和3年度は90.4%で、前年度から4.3ポイントと大きく改善をいたしております。主な要因といたしましては、普通交付税や地方消費税交付金の大幅な増加、また市税収入においてコロナの影響を抑えられたことが大きく影響しております。

次に、11ページに健全化判断比率を載せております。健全化判断比率は、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率の4つの指標から成っております。本市の令和3年度健全化判断比率は、一般会計等の実質収支が黒字であるため、実質赤字比率の表示はなく、また公営事業会計も含めた実質収支の合計でも黒字であるため、連結実質赤字比率の表示もございません。一部事務組合まで含めました実質公債費比率につきましては2.9%となっており、昨年より0.7ポイント上昇しておりますが、地方公社や第三セクターなどまで含めた将来負担比率では、市債残高などの将来負担額から充当可能財源を引きますとマイナスになりますので、負担比率の表示はございません。したがって、11ページの表からもお分かりのとおり、本市の財政状況は全て早期健全化基準及び財政再生基準以下であるため、健全化法に基づく財政健全化計画及び財政再生計画の策定は不要でございます。

12ページ、13ページをお願いいたします。

こちらは市債残高と基金残高の推移をグラフで載せております。令和3年度の市債発行額は13億7,171万8,000円で、将来世代へ可能な限り付け回しをしないという方針の下、今後対応が見込まれる公共施設の改修等を見据え、借入れの抑制に努めましたことから、市債残高は前年度よりも11億6,049万2,000円減少し、206億9,376万1,000円となっております。市債残高を分析いたしますと、このうち約68%は後年度に普通交付税として交付される額であり、また約14%は史跡地公有化の償還補給金などとして補助金であがなわれます。よって、起債残高のうち実質的に市が負担する額は約18%ということになります。

基金につきましては、将来世代へ可能な限り蓄えを残し、災害対応など危機に備えるとの方針の下、令和3年度は可能な限り基金に頼らない財政運営に努めまして、また前年度決算剰余金を原資として中学校完全給食や老朽化した公共施設への備えとして公共施設整備基金に大きく積み増すなど、将来の需要増に備えて基金の増加に努めております。この結果、令和3年度末の基金総額は前年度より7億9,323万円増加し、過去最高の57億697万2,000円となっております。

以上、簡単ではございますが、一般会計及び普通会計の歳入歳出決算につきまして概要を説明いたしました。詳細につきましては、配付させていただいております決算書並びに事務報告書、監査意見書等をご参照いただければと考えております。

よろしくご審査賜りますようお願いいたします。

○委員長（陶山良尚委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第2 認定第2号 令和3年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（陶山良尚委員） 次に、日程第2、認定第2号「令和3年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民生活部長。

○市民生活部長（中島康秀） 日程第2号「令和3年度太宰府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」、その概要をご説明申し上げます。

資料につきましては、決算書の259ページから290ページ、事務報告書は72ページ、73ページ、145ページ、決算審査及び基金の運用状況審査意見書は35ページから37ページ、51ページ、54ページとなっております。

初めに、本市国民健康保険の加入状況についてでございますが、事務報告書の72ページに記載していますように、令和3年度平均加入世帯数は9,212世帯で、前年度と比べ、91世帯、1.0%の減。平均被保険者数は1万4,150人で、前年度と比べ、362人、2.5%の減となっております。

続きまして、決算の状況についてご説明申し上げます。

決算書の260ページ、261ページをお願いいたします。

歳入の決算額につきましては、歳入総額71億5,381万5,921円となっております、前年度に比べ、3億709万928円、4.5%の増となっております。

決算書の262ページ、263ページをお願いいたします。

歳出の決算額につきましては、歳出総額70億3,289万7,542円となっております、前年度に比べ、2億7,322万9,249円、4.0%の増となっております。

歳入から歳出を引きました差引き残額は1億2,091万8,379円の黒字決算となっております。

次に、歳入の主なものについて事項別明細書にてご説明いたします。

266ページ、267ページをお願いいたします。

1款国民健康保険税でございますが、14億1,093万1,312円でございます、前年度に比べ、2,977万8,681円、2.1%の減となっております。

268ページ、269ページをお願いいたします。

3款県支出金でございますが、49億8,979万円でございまして、前年度に比べ、4億8,151万6,000円、10.7%の増となっております。

5款繰入金でございますが、6億3,361万3,368円でございます、前年度に比べ、183万8,974円、0.3%の減となっております。

次に、歳出の主なものについて事項別明細書にてご説明いたします。

278ページから281ページをお願いいたします。

2款保険給付費でございますが、48億1,428万5,596円でございます、前年度に比べ、4億6,780万451円、10.8%の増となっております。

280ページ下段から283ページをお願いいたします。

3款国民健康保険事業費納付金でございますが、19億3,134万6,689円でございます、前年度に比べ、5,667万2,290円、2.9%の減となっております。

282ページ下段から287ページをお願いいたします。

5款保健事業費でございますが、7,632万263円でございます、前年度に比べ、728万958円、10.5%の増となっております。

以上が決算の概要でございます。

昨年度に引き続き黒字決算となっておりますが、国民健康保険制度につきましては、被用者保険と比べまして年齢構成及び医療費水準が高く、所得水準が低いという構造的な課題によりまして、依然として非常に厳しい状況が続いております。本市としましては、引き続き保険税の収入確保に努めるとともに、医療費適正化の取組や市民の健康づくりに資する取組をはじめとする保健事業等を行うことで、国民健康保険財政の健全な運営に努めてまいります。

よろしくご審査いただきまして認定賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（陶山良尚委員） 説明は終わりました。



日程第3 認定第3号 令和3年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（陶山良尚委員） 次に、日程第3、認定第3号「令和3年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民生活部長。

○市民生活部長（中島康秀） 認定第3号「令和3年度太宰府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について」、その概要をご説明申し上げます。

資料につきましては、決算書の291ページから302ページ、事務報告書では74ページ、146ページ、決算審査及び基金の運用状況審査意見書は37ページから39ページ、51ページとなっております。

決算書の292ページ、293ページをお開きください。

歳入の決算額につきましては、歳入総額13億5,335万8,814円となっております、前年度に比べ、3,862万745円、2.9%の増となっております。

同ページ、歳出の決算額につきましては、歳出総額13億888万9,934円となっております、前年度に比べ、4,734万3,916円、3.8%の増となっております。

歳入から歳出を引きました差引き残高は4,446万8,880円の黒字決算となっております。

次に、歳入の主なものにつきまして事項別明細書にてご説明いたします。

294ページ、295ページをお願いいたします。

1款保険料でございますが、10億7,223万769円でございます、事務報告書の74ページにも記載しておりますが、令和3年度は被保険者数が1万202人と前年度より221名増加したこともあり、前年度に比べ、1,987万5,349円、1.9%の増となっております。

次に、3款繰入金でございますが、2億2,300万6,876円でございます、前年度に比べ、1,000万1,377円、4.7%の増となっております。

次に、5款繰越金でございますが、5,319万2,051円でございます、前年度に比べ、499万171円、10.4%の増となっております。

次に、歳出の主なものにつきまして事項別明細書にてご説明いたします。

298ページ、299ページをお願いいたします。

歳出全体の99.7%を占めます1款総務費は13億431万9,616円でございます、前年度に比べ、4,381万2,568円、3.5%の増となっております。また、総務費の中でも後期高齢者医療広域連合負担金が12億8,411万4,158円でございます、総務費の98.5%を占めております。この広域連合負担金につきましては、事務費負担金、保険料負担金及び保険基盤安定制度負担金が含まれておりまして、内訳につきましては事務報告書の74ページに記載をしております。

以上が決算の概要でございます。

後期高齢者医療制度につきましては、団塊の世代が後期高齢者医療制度に移行する時期となることなど、高齢化に伴う被保険者の増加及び医療費の増加などによりまして財政的にますます厳しくなる見込みであります。本市といたしましても、保険者である福岡県後期高齢者医療広域連合と連携して、今後とも適正な運営に努めてまいります。

よろしくご審査いただきまして認定賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（陶山良尚委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第4 認定第4号 令和3年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（陶山良尚委員） 次に、日程第4、認定第4号「令和3年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

健康福祉部高齢者福祉担当理事。

○健康福祉部高齢者福祉担当理事（行武佐江） 認定第4号「令和3年度太宰府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について」、その概要をご説明申し上げます。

資料につきましては、決算書の305ページから352ページ、事務報告書は75ページ、76ページと147ページから149ページ、決算審査及び基金運用状況審査意見書は40ページから43ページ、53ページ、54ページとなっております。

初めに、本市介護保険の状況についてでございますが、令和3年度末現在の第1号被保険者数は2万101人で、前年度と比べ、115人、0.6%の増。認定者数は3,435人で、前年と比べ、39人、1.1%の増となっております。

続きまして、決算の状況についてご説明申し上げます。

まず、保険事業勘定からご説明申し上げます。

決算書の306ページ、307ページをお願いいたします。

歳入の決算額につきましては、歳入総額は55億1,573万6,715円でございます。前年度に比べ、2億5,583万7,460円、4.9%の増となっております。

次に、308ページ、309ページをお願いいたします。

歳出の決算額につきましては、歳出総額は54億692万1,836円でございます。前年度に比べ、1億7,601万5,876円、3.4%の増となっております。

歳入から歳出を引きました額は1億881万4,879円でございます。黒字決算となっております。

次に、歳入の主なものにつきまして事項別明細書にてご説明いたします。

310ページ、311ページをお願いいたします。

まず、1款保険料でございますが、65歳以上の第1号被保険者保険料でございます。12億4,305万6,486円でございます。前年度に比べ、4,681万9,631円、3.9%の増となっております。この増額の主な要因といたしましては、保険料改定によるものでございます。

310ページの中段から313ページをお願いいたします。

3 款国庫支出金でございますが、11億8,410万2,869円でございます。前年度に比べ、5,863万6,176円、5.2%の増となっております。

312ページの下段から313ページをお願いいたします。

次に、4 款支払基金交付金でございますが、40歳から64歳までの第2号被保険者保険料でございます。各医療保険者が健康保険料と一緒に徴収している介護保険料を交付金として13億8,805万9,844円を受け入れており、前年度に比べ、7,071万4,844円、5.4%の増となっております。

314ページから315ページをお願いいたします。

5 款県支出金でございますが、7億9,513万7,566円でございます。前年度に比べ、2,722万6,020円、3.5%の増となっております。

314ページの下段から317ページをお願いいたします。

7 款繰入金でございますが、8億7,524万7,729円でございます。前年度に比べ、2,578万5,554円、3.0%の増となっております。

なお、基金からの繰入れや介護サービス事業勘定からの繰入れは行っておりません。

次に、歳出の主なものにつきましても事項別明細書にてご説明いたします。

320ページから325ページをお願いいたします。

1 款総務費でございますが、2億1,094万7,977円でございます。前年度に比べ、214万8,402円、1.0%の減となっております。

324ページの中段から333ページをお願いいたします。

2 款保険給付費でございますが、49億878万9,958円でございます。前年度に比べ、1億6,882万674円、3.6%の増となっております。

332ページの上段から341ページをお願いいたします。

3 款地域支援事業費でございますが、2億4,781万5,937円でございます。前年度に比べ、295万4,554円、1.2%の増となっております。

以上が保険事業勘定の説明でございます。

続きまして、介護サービス事業勘定についてご説明申し上げます。

決算書の346ページ、347ページをお願いします。

上段の歳入の決算額につきましては、歳入総額5,909万5,606円でございます。前年度に比べ、248万8,021円、4.0%の減となっております。

下段の歳出の決算額につきましては、歳出総額5,909万5,606円でございます。前年度に比べ、248万8,021円、4.0%の減となっております。

歳入から歳出を引きました額は0円となっております。

次に、歳入の主なものにつきましても事項別明細書にてご説明いたします。

決算書の348ページ、349ページをお願いいたします。

1 款サービス収入でございますが、4,052万4,436円でございます。前年度に比べ、123万5,967円、3.1%の増となっております。

次に、歳出の主なものにつきまして事項別明細書にてご説明いたします。

決算書の350ページ、351ページをお願いいたします。

歳出の全額が1 款総務費でございますが、5,909万5,606円でございます。前年度に比べ、248万8,021円、4.0%の減となっております。

以上が決算の概要でございます。

介護保険制度につきましては、団塊の世代が75歳を迎える2025年に向け、高齢化は進み、ひとり暮らしの世帯やご高齢の夫婦のみの世帯、認知症高齢者の増加が見込まれます。本市といたしましては、地域住民の互助による活動や介護予防のさらなる取組、関係機関などが一体となり、自立支援、重度化防止などを推進することで、介護保険財政の健全な運営に努めてまいります。

よろしくご審査いただきまして認定賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（陶山良尚委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第5 認定第5号 令和3年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について

○委員長（陶山良尚委員） 次に、日程第5、認定第5号「令和3年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

市民生活部長。

○市民生活部長（中島康秀） 認定第5号「令和3年度太宰府市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について」ご説明申し上げます。

資料につきましては、決算書の353ページから362ページ、事務報告書は77ページ、決算審査及び基金運用状況審査意見書は44ページから45ページとなっております。

決算書の354ページから355ページをお願いいたします。

歳入歳出決算につきましては、歳入総額が598万5,772円となっており、対前年度比では176万3,854円の増額となっております。

歳出決算につきましては、歳出総額339万7,081円となっており、対前年度比では230万6,584円の増額となっております。

歳入及び歳出が増額になりました主な理由は、令和2年度の償還金が令和元年度の償還金を上回り、歳入における前年度繰越金、歳出における基金積立金が増額になったことによるものでございます。

歳入から歳出を引きました差引き残額は258万8,691円となっております。

今後の滞納解消に向けた取組といたしましては、経済状況が厳しい状況の中、償還計画相談

を行い、計画的、継続的な返済を促し、滞納解消に努めてまいります。また、返済困難者に対しては、県や委託弁護士と相談し、県の助成金制度を活用し、滞納整理を行います。

よろしくご審査いただきまして認定賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（陶山良尚委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第6 認定第6号 令和3年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

○委員長（陶山良尚委員） 次に、日程第6、認定第6号「令和3年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

都市整備部長。

○都市整備部長（高原 清） 認定第6号「令和3年度太宰府市水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」、その概要をご説明申し上げます。

水道事業の決算書は水色の決算書になります。恐れ入ります、水色の水道事業の決算書のほうをご準備お願いいたします。

そちらの5ページをお開きください。

建設工事の概況ですが、令和3年度は、配水管の新設工事1件、布設替え工事5件、次ページになりますが、配水施設改良工事1件、浄水施設改良工事2件を行っております。

次に、7ページをお願いいたします。

表の上から2段目の年度末給水人口ですが、前年度に比べて109人増加し、伸び率は0.2%となっております。普及率につきましては、前年度から0.3%上昇し、84.8%となっております。今後とも引き続き、普及率の向上に努めてまいります。また、年間給水量は0.4%の減、その下の水道料金の対象となります年間有収水量につきましては0.5%の減となっており、一番下の有収率は93.8%となりました。

その下の供給単価ですが、1 m<sup>3</sup>当たり209.45円、給水原価は189.9円となっております。

次に、11ページをお願いいたします。

一番上の表、イの企業債ですが、令和3年度につきましては発行額が0円、償還額が1億2,916万4,770円で、令和3年度末現在高が5億4,846万1,066円となっております。

続きまして、16ページをお願いいたします。

令和3年度の損益計算書ですが、下から3行目をご覧ください。当年度純利益ですが、こちらが2億3,740万8,096円となっており、一番下の当年度未処分利益剰余金は11億7,213万1,204円となっております。

続きまして、18ページをお願いいたします。

令和3年度の剰余金処分計算書案ですが、先ほどの当年度未処分利益剰余金11億7,213万1,204円が一番右上の欄に表示されておりますが、このうち1億4,710万9,818円を資本金への組入れ、9,029万8,278円を建設改良積立金の積立て、残りの前年度と同額の9億3,472万

3,108円を次年度に繰越しとしております。

なお、19ページ以降に関係諸表を添付しておりますので、後ほどご参照いただきますようお願いいたします。

説明は以上となります。

審査のほどよろしく願いたします。

○委員長（陶山良尚委員） 説明は終わりました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第7 認定第7号 令和3年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について

○委員長（陶山良尚委員） 次に、日程第7、認定第7号「令和3年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」を議題とします。

本案について説明を求めます。

都市整備部長。

○都市整備部長（高原 清） 認定第7号「令和3年度太宰府市下水道事業会計剰余金の処分及び決算認定について」、その概要をご説明申し上げます。

下水道事業の決算書は黄色の決算書になります。

まず、6ページをお願いいたします。

建設工事の概況ですが、こちらに掲載のとおり、汚水人孔蓋更新工事などを実施いたしました。また、ふだん目にする機会の少ない下水道への理解と関心を深めていただくとともに、太宰府市の魅力を発信することを目的といたしまして、令和発祥の都PRキャラクターデザインのカラーマンホールを市内3か所に設置いたしました。

次に、7ページをお願いいたします。

業務量でございますが、普及率は99.6%、水洗化率は97.7%、水洗化人口普及率は97.4%となっており、令和2年度とほぼ同じ状況でございます。整備率につきましては88.4%となり、今後とも計画的な整備に努めていきたいと考えております。有収水量につきましては、全体として0.5%の増となっております。

その下の使用料単価でございますが、1 m<sup>3</sup>当たり171.56円、処理原価は102.14円となっております。

次に、10ページをお願いいたします。

(2)イの企業債につきましては、令和3年度には8,770万円を発行し、6億2,288万7,112円を償還しまして、令和3年度末現在高は53億2,556万5,524円となっております。企業債の残高につきましては今後も減少していく見通しで計画をしております。

次に、18ページをお願いいたします。

令和3年度の損益計算書ですが、下から4行目をご覧ください。当年度の純利益の額は4億8,122万5,385円となっており、一番下の当年度末処分利益剰余金は7億2,512万9,374円となっ

ております。

次に、20ページをお願いいたします。

令和3年度の剰余金処分計算書案ですが、先ほどの当年度未処分利益剰余金7億2,512万9,374円が一番右上の欄に表示されておりますが、このうち4億5,038万6,004円を資本金への組入れ、1億9,338万1,986円を減債積立金の積立て、残りの前年度と同額の8,136万1,384円を次年度に繰越しとしております。

なお、21ページ以降に関係諸表を添付しておりますので、後ほどご参照いただきますようお願いいたします。

説明は以上です。

審査のほどよろしくお願いをいたします。

○委員長（陶山良尚委員） 以上で説明は終わりました。

質疑については9月14日及び9月15日の決算特別委員会で行います。

~~~~~ ○ ~~~~~

○委員長（陶山良尚委員） 本日はこれもちまして散会します。

散会 午前11時45分

~~~~~ ○ ~~~~~